

千代田区スポーツ振興基本計画（骨子） 概要版

1. 基本理念・基本目標

(1) 基本理念

楽々いえスポ 元気にまちスポ
いいね👍 スポーツちよだ

いえでも、まちでも、誰もが、楽しく、身体を動かすことがスポーツ
通勤での階段の上り下り、体育館でのバレーボールの試合や練習、
買い物やフライパンでのお料理することのすべてがスポーツです。
オリンピック・パラリンピック東京 2020 年大会をきっかけに、
スポーツを一層楽しく活発に！

(2) 基本目標

基本目標 1：家で・ゆるく
「楽々スポーツ」を推進し身体を動かす習慣を区民に定着させます。

基本目標 2：競技
区民の運動能力を「のばすスポーツ」を推進します。

基本目標 3：誰でも
年齢も障害も飛び越えた「しょうがいスポーツ」を応援します。

基本目標 4：情報・IT 化
IT や新技術を積極的に取り入れて「eスポーツ」を推進します。

基本目標 5：まちづくり
スポーツを中心に人が集い賑わいを生む「スポーツのまち」を目指します。

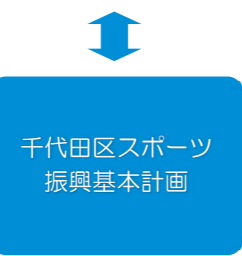
2. 計画の位置づけ

- スポーツ基本法に基づき、地域の実情に即したスポーツ推進に関する分野別計画
- 平成 25 年 9 月に招致決定した「東京 2020 大会」開催を見据え策定
- 令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年計画

《区の上位計画》
・ちよだみらいプロジェクト-千代田区第 3 次基本計画 2015-

《国》
・スポーツ基本法
・第 2 期スポーツ基本計画

《都》
・スポーツ推進総合計画



《区の関連計画》
・千代田区地域福祉計画 2016
・千代田区高齢者福祉計画
・千代田区障害福祉プラン
・次世代育成支援計画
・第二次健康千代田 21 等

3. スポーツの基本事項（定義）

スポーツとは

ルールに基づいて勝敗や記録を競うものから、健康を目的に行われる運動、更には遊びや楽しみを目的とした身体活動、日常生活の中の身体を動かす行為まで、その全てを幅広く含むもの

障害者スポーツ

障害者もそうでない人も楽しめるユニバーサルなスポーツ



車椅子バスケット

生涯スポーツ

誰もがいつでも、どこでも、いつまでも親しむことができるスポーツ



グラウンドゴルフ

4. 千代田区の地域特性・千代田区のスポーツの現況と課題

検討課題	検討要素	まとめ
千代田「らっくわ」とは	現況および特性	<ul style="list-style-type: none"> 23 区のうち、面積 11.66 km²、うち宅地（57%）、商業地（46%）、公用地（44%うち 12%が皇居） 皇居西側は坂が多い台地、東側はお濠が残る低地、南東部-低地は緑が多く、北西部-台地は緑が少ない 江戸時代、皇居周辺一帯は武家地が広がり、神田駅・秋葉原駅周辺には町人地があった 南部は政治・行政の主要機能、東部は大規模オフィスビル、西部は区割の大きな住宅地、北部は大学や商業地 皇居東のオフィス街、北の学生街、スポーツ用品店、電気街等、エリアで異なるまちの賑わいが特徴
	本区の人々	<ul style="list-style-type: none"> 区の人口は令和 2 年 10 月 1 日現在、67,042 人で年々増加傾向 一世帯人数は減少、子どものいる世帯の絶対数は増加、全体に占める割合は減少 平成 27 年のデータでは、昼間人口は人口の約 14.6 倍で、23 区内 3 位
	本区のスポーツ資源	<ul style="list-style-type: none"> 日本野球・ラジオ体操会の発祥地、東京 1964 大会時の日本武道館の整備や聖火リレー等 公共施設：千代田区スポーツセンター、外濠公園総合グラウンド、花小金井運動施設、夢の島東少年野球場、小川広場等 民間施設：フィットネスジムやランニングステーション等用途を特化したものが多い 私立中学校(12)、私立高校(16)、私立大学(14)等の教育機関があり、区立中学校等でスポーツ開放(4)、区立小学校で校庭開放(8)、コミュニティスクール(4)等で活用 皇居周辺の緑や坂を利用したウォーキングコースや散歩道がある他、皇居の周回コースは市民ランナーのメッカ
	本区のスポーツの現況	<ul style="list-style-type: none"> 週 1 回以上スポーツを実施する区民の割合は、平成 28 年に一旦 60%を上回る 内容は「散歩やウォーキング」が 6 割を超え、頻度は「30 分以上の運動を週 2 回以上」が 3 割 始めたいのは「水泳」が 2 割近くで最高、行わなかった理由は「忙しくて時間がない」が 5 割 望むことは「施設の利用時間の拡大（早朝・夜間）」が 3 割半ばで最高 27 の団体が千代田区体育協会に加盟、在任者だけでなく多くの在勤者が登録されているのが特徴的 区内初の総合型地域スポーツクラブ「富士見スポーツ・文化クラブ」が設立(H24)
時代・社会潮流の認識	制度および上位計画	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省は「スポーツ立国戦略-スポーツコミュニティ・ニッポン- (H22.8)」、「スポーツ基本法 (H23.6)」を制定 スポーツ庁の発足(H27.10)後、「第 2 期スポーツ基本計画」(H29.3)を策定 「東京都スポーツ推進計画(H25.3)」と「東京都障害者スポーツ振興計画(H24.3)」を統合した「東京都スポーツ推進総合計画(H30.3)」を策定 「ちよだみらいプロジェクト千代田区第 3 次基本計画 2015 (H27.3)」にて目標等を継承、更新
	時代の要請	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力、運動能力の低下 長寿命化に伴う生きがいの必要性 生活習慣病の増加 情報技術の目覚ましい普及 医療費削減にスポーツが寄与 高齢化による医療費の増大、健康寿命を伸ばす運動の必要性 障害者スポーツの認知度の向上 余暇・自由時間の重要性の高まり 地域コミュニティの希薄化 コストセンター(負担)からプロフィットセンター(利益)への移行
	東京 2020 大会の開催(レガシー)	<ul style="list-style-type: none"> 7/23~9/5、会場：日本武道館、東京国際フォーラム、千代田区スポーツセンター（練習場） 大会レガシー：大会後も開催地が長期にわたり継承・享受できる社会的・経済的な恩恵を示す 1964 東京大会：国際レベルの戦力強化、スポーツクラブの波及、民間人による民間人のためのスポーツ活動、社会体育の展開、日本リーグの誕生、Jリーグの源流、選手と指導者の体系的な育成等 ロンドン大会：スポーツ・レガシー計画の策定・推進、リオ大会：マイナー競技ゴルフの推進
	スポーツと地域振興	<ul style="list-style-type: none"> スポーツビジネス成長産業化の気運、スポーツの地域経済への貢献への期待の高まり 「eスポーツ」や「運動遊び」といったスポーツの新たな広がり、地域振興や地域コミュニティの形成への波及 スポーツ振興に必要な場づくりが重要

5. 重点プロジェクト

① お家でゆる〜くはじめる 「楽々スポーツ」プロジェクト

自宅や身近な生活の場において、わずかな時間で手軽に実施できるスポーツを提案し、「しない人」「してみたい人」の背中を押すことで、より多くの区民に「身体を動かす生活」を定着させます。



② 健やかな心と身体を育む 「のばすスポーツ」プロジェクト

新スポーツセンターの整備の推進と「スポーツ指導者人材バンク制度」の充実により、場所・機会・指導者等スポーツを行うためのより良い環境を提供し、区民の運動能力を伸ばします。



③ 誰もがいつまでも楽しめる 「しょうがいスポーツ」プロジェクト

東京 2020 大会のレガシーとして、全ての人が生涯楽しめる「しょうがいスポーツ（ユニバーサルスポーツ）」を普及し、一緒に楽しむことでバリアの無い健康で豊かな社会を目指します。



④ IT や新技術で未来につながる 「eスポーツ」プロジェクト

IT をはじめその他知見・技術・人材を有する大学や企業が集積する地域性を活かし、スポーツに関する情報交換を促進、IT 化や新技術を用いた手軽で楽しい「eスポーツ」を推進します。



⑤ 地域とコミュニティを育む 「まちづくりスポーツ」プロジェクト

ラジオ体操会発祥の地や地域の見所を巡るウォーキング等、地域のスポーツ資源を活かした地域活性化を図ると共に、スポーツや身体を動かす活動を介して、人をつなぎコミュニティを育みます。



6. 数値目標

目標	数値目標	現在 令和元年度	目標年次 令和7年度
目標			
1	週1回以上、スポーツを行う成人の割合※1	56.7%	70.0%以上
目標			
2	スポーツセンター利用者満足度(10段階評価)※2	7.08点	7.5点以上
目標			
3	週1回以上スポーツを行う障害者の割合	25.3% (全国数値)	40.0%以上

※1：千代田区民世論調査より

※2：年2回実施の利用者アンケート平均値

8. 計画の推進に向けて

- 本計画は、PDCA サイクルによって推進します。
- 広報千代田や千代田区総合ホームページ等の活用、町会を通じた情報の提供やイベント等による普及・啓発活動によって、広報活動を展開します。
- この計画に掲げた基本目標や各事業の達成状況については、千代田区総合ホームページ等を通じて、区民に公表します。また、区民世論調査を利用し、区民のスポーツへの参加や実施状況等を把握して、次年度以降に必要な事業等についての区民からのご意見、ご要望を収集します。

7. 施策体系

※①～⑤は重点プロジェクトとの対応、★印は大会レガシー継承に係る施策

基本方針	分野	施策	分類	重点※	所管	
1 家で・ゆるく		① 身体を動かす生活の定着支援	新規	①★	生涯学習・スポーツ課	
		② 苦手な人も楽しめる「ゆるスポ」の普及	新規	①	生涯学習・スポーツ課	
		③ 公園・広場のスポーツ機能の確保	継続		道路公園課・子育て推進課	
		④ スポーツ教室・週間プログラムの実施	拡大		生涯学習・スポーツ課	
		⑤ スポーツ施設の区民利用の促進	継続		生涯学習・スポーツ課	
		⑥ 講座・講習会バウチャー制度の実施	継続		生涯学習・スポーツ課	
		⑦ 幼児・児童・生徒のための教室の実施	継続		生涯学習・スポーツ課	
		⑧ 健康教育の実施（食育出前講座等）	継続		健康推進課	
2 競技	環境	⑨ 新スポーツセンターの整備	新規	②	生涯学習・スポーツ課	
		⑩ 大学・私立学校・民間企業との連携強化	拡大		生涯学習・スポーツ課	
		⑪ スポーツ団体との共催事業の実施	継続		生涯学習・スポーツ課	
		⑫ 屋外スポーツの活動支援	継続		生涯学習・スポーツ課	
		⑬ 指定管理者によるスポーツセンター運営の充実	継続		生涯学習・スポーツ課	
		⑭ コミュニティスクールの推進	継続		生涯学習・スポーツ課	
		⑮ 学校スポーツ施設の地域への開放	継続		学務課 子ども施設課 生涯学習・スポーツ課	
		⑯ スポーツ指導者人材バンク制度の充実	拡大	②	生涯学習・スポーツ課	
		⑰ スポーツ推進委員の育成・支援	継続		生涯学習・スポーツ課	
		⑱ スポーツ指導員の設置	継続		生涯学習・スポーツ課	
3 誰でも	区民の運動能力を「のばすスポーツ」を推進します。	⑲ スポーツ団体の支援	継続		生涯学習・スポーツ課	
		⑳ 地域のスポーツクラブ・区民自主サークル団体などとの連携	継続		生涯学習・スポーツ課	
		子ども	㉑ 子どもの体力向上を図る「運動遊び」の普及	新規	③	子育て推進課 生涯学習・スポーツ課
			㉒ 子どもの居場所づくりへの支援	継続		児童・家庭支援センター
			㉓ 児童センター・児童館でのスポーツ活動の実施	継続		児童・家庭支援センター
			㉔ 区立小中学校の部活動の推進	継続		指導課
		障害者	㉕ 「ユニバーサルスポーツ」の普及	新規	③★	生涯学習・スポーツ課
			㉖ 障害者のスポーツのしやすさの向上	拡大		生涯学習・スポーツ課
			㉗ 心身障害者水泳教室の実施	継続		生涯学習・スポーツ課
			㉘ 日曜青年教室の実施	継続		生涯学習・スポーツ課
高齢者	㉙ 高齢者のための運動プログラムの実施		拡大		在宅支援課	
	㉚ 生活機能低下防止事業の実施		継続		在宅支援課	
4 情報・IT化	IT や新技術を積極的に取り入れて、「eスポーツ」を推進します。	㉛ 高齢者活動センターでのスポーツ活動の実施	継続		高齢者活動センター (在宅支援課)	
		㉜ 情報発信の充実（IT化・双方向化・eスポーツの推進・民間活力の導入等）	拡大	④	生涯学習・スポーツ課	
		㉝ 千代田スポーツウォレットの検討	新規		生涯学習・スポーツ課	
		㉞ スポーツ施設や活動に関する総合情報ガイドブックの発行	継続		生涯学習・スポーツ課	
		㉟ スポーツ・レクリエーション活動に関する情報誌の発行	継続		生涯学習・スポーツ課	
5 まちづくり	スポーツを中心に人が集い賑わいを生む、「スポーツのまち」を目指します。	㊱ ちよだ健康ポイント制度の実施	新規		地域保健課	
		㊲ スポーツ資源を活かした地域活動の推進	新規	⑤	生涯学習・スポーツ課	
		㊳ 総合型地域スポーツクラブの支援等	拡大		生涯学習・スポーツ課	
		㊴ 区民スポーツ大会を活用した地域の活性化	継続		生涯学習・スポーツ課	
		㊵ 健康づくり推進員の設置	継続		地域保健課	